

■ドイツ：E.ONとマイクロソフトがエネルギー管理サービスを開発

ドイツの大手エネルギー供給事業者 E.ON は 2018 年 9 月 25 日プレスリリースで、マイクロソフト社と共同で家庭内の電気使用量を最適化するためのソリューションを提供するサービスを 2019 年から開始すると発表した。このサービスでは家庭内のすべての家電製品と太陽光発電、蓄電池、外部の卸電力市場を結び、電気の使用や充電を最適化することをめざしており、電気料金の低下や、CO₂ 排出削減が期待される。AI や IoT などデジタル技術の開発が進んだことで、消費者の行動を予測することが可能となり、例えば帰宅時間を想定して適切な室内温度に調整することなどが考えられる。さらに自宅の太陽光発電や蓄電設備を有効利用して、卸電力市場で電力価格が高い場合は家庭から電気を販売し、逆に安価な場合は卸電力市場から購入できる。マイクロソフト社は家電や外部と接続するシステムを提供することになり、E.ON では 3 年以内に 20 万軒でサービスを提供することを目標にしている。